

## 千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

## 前 号 目 次

献辞 気骨の人—西先生……………	加 藤 寛
西昭夫先生の人と業績……………	奥 田 俊 介
西昭夫先生略歴および著作目録	

### 論 説

大学生の性格における年代的变化……………	中 村 晃 ( 1 )
孟子の良心哲学論—良知良能と関連して—……………	浅 井 茂 紀 (21)
メタファーの図式化……………	高 木 道 信 (39)
メルランの最後の日々……………	花 田 文 男 (63)
マックス・リュウティのメールヒェンの様式概念……………	塩 谷 透 (103)
畑地地域を流れる小河川への硝酸態窒素の負荷源と流入経路について： カナダ・オンタリオ州ストロベリークリークの例……………	杉 田 文 (125)
異種混交の庭が表象するもの —ラパチャーニの庭とホーソーンの人種意識—……………	大 野 美 砂 (143)
形式主義的正義原理の限界とその克服 —正義と愛と人権の関係を軸として—……………	若 林 明 彦 (155)
抄録……………	(171)